

# 中小企業景況調査報告書

( 第128回 )

平成24年10～12月期 実 績  
平成25年 1～3月期 見通し

平成25年1月

北海道商工会議所連合会

# 目 次

## ． 調 査 要 領

1． 調査時点及び調査対象期間	2
2． 調査対象	2
3． 調査地域及び調査方法	2
4． 業種別・規模別回答状況	2

## ． 概 況

1． 今期の業況	
(1) 今期の業況	6
(2) 今期の売上高	8
(3) 今期の採算（経常利益）	9
(4) 今期の資金繰り	11
(5) 今期の経営上の問題点	12
(6) 今期の従業員の動向	12
(7) 今期の新規設備投資	13
2． 来期の見通し	
(1) 来期の業況	14
(2) 来期の売上高	15
(3) 来期の採算（経常利益）	15
(4) 来期の新規設備投資	16

# 調査要領

## 1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点 平成24年12月
- (2) 調査対象期間 平成24年10～12月期実績及び平成25年1～3月期の見通し

## 2. 調査対象

### (1) 中小企業景況調査

「製造業・建設業」については、資本金3億円以下、又は従業員300人以下の企業、「卸売業」については、資本金1億円以下、又は従業員100人以下の企業、「小売業」については、資本金5千万円以下、又は従業員50人以下の企業、「サービス業」については、資本金5千万円以下、又は従業員100人以下の企業を対象とした。

### (2) 業界動向調査

道内各地商工会議所が地域の中小企業者との相談等により情報収集した特徴的事例。また各業界組合・企業に対し独自に聞き取り調査を実施し、生の声を収集した。

## 3. 調査地域及び調査方法

全道商工会議所地域の中小企業に対しアンケート調査を実施（中小企業景況調査）  
全道商工会議所を通じて地域の業界組合等へヒアリング調査を実施（業界動向調査）

## 4. 業種別・規模別回答状況（社数）

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合計
小規模	44	58	42	65	71	280
中規模	16	10	20	14	25	85
合計	60	68	62	79	96	365
構成比(%)	16.4	18.7	17.0	21.6	26.3	100.0

### (2) 業界動向調査

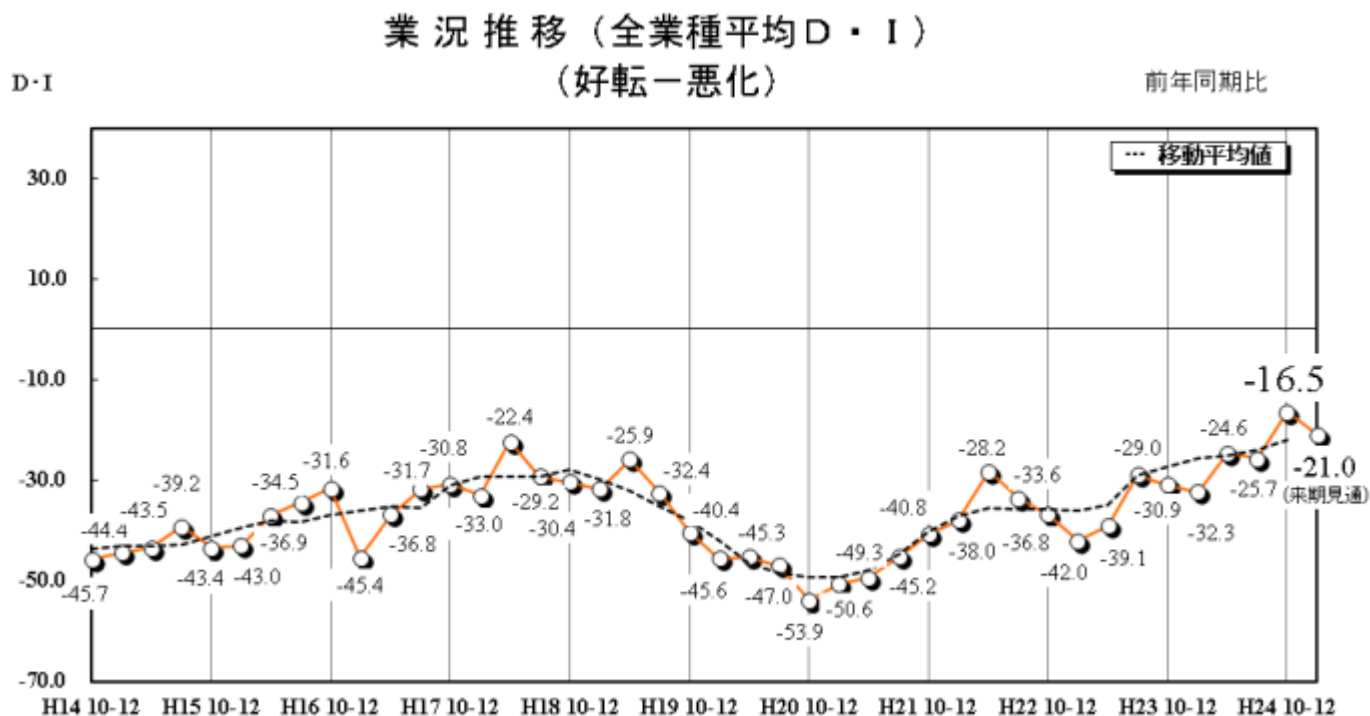
- ・業界動向ヒアリング先 製造業 38社、建設業 26社、卸売業 12社、  
小売業 31社、サービス業 53社、合計160社

本調査結果中の「D・I」とある記号は、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差引いた値（景気動向指数）を示す。

ホームページ：URL <http://www.hokkaido.cci.or.jp/keiki/>

# 概況

- 業況D・Iは持ち直しの動きも先行きは慎重な見方が続く -



## 今期の業況

今期（10月～12月期）の中小企業景況調査における全業種平均D・I値（「好転」と答えた企業と「悪化」と答えた企業の割合の差）は、前年同期比（平成23年10月～12月期の水準と比較した今期の業況）では 16.5と前回調査より、9.2ポイントマイナス幅を縮小した。

来期の業況見通しは、21.0とマイナス幅を拡大する見通しとなっている。

業種別では、前年同期比では、製造(前回 1.7 今回 3.3)、建設(前回 35.7 今回 17.4)、卸売(前回 31.7 今回 20.6)、小売(前回 36.5 今回 26.3)、サービス(前回 22.9 今回 15.2)と、製造業でマイナス幅が拡大したのに対し、建設業・卸売業・小売業・サービス業の4業種でマイナス幅が縮小した。

今期の経営上の問題点として上位に挙げられているものは、依然として全業種で「需要の停滞」（製造業27.0%、建設業38.0%、卸売業48.2%、小売業23.3%、サービス業21.1%）が依然として大きな要因となっている他、製造業では「製品ニーズの変化への対応」（17.4%）、建設業では「請負単価の低下・上昇難」（22.2%）、

卸売業では「販売単価の低下・上昇難」(17.4%)、小売業では「販売単価の低下・上昇難」(20.4%)、サービス業では「利用者ニーズの変化への対応」(19.7%)などの問題点が浮上している。

一方、設備投資の状況については、今期、新たに設備投資を行った企業は全業種平均で20.3%と、前回調査時(14.9%)より5.4%上昇。また来期の設備投資予定については12.4%と、今期より設備投資を控える動きとなっている。

## 産業別の動向

【製造業】 [業況D・I値(前年同期比) 3.3(来期見通し 15.1)]

業況D・I値(前年同期比)の前回の調査(平成24年7月~9月期)時点からの推移では、前回 1.7 今回 3.3と1.6ポイントマイナス幅が拡大した。

来期は 15.1とさらにマイナス幅を拡大する見通し。

〔主なコメント〕

- ・中国向け部品の輸出の減少、国内の家電メーカーの不況等、先の見通しも悪い状況が続いている。(製造業)
- ・原材料、資材が値上げ傾向にあることに加え、消費税の増税と不安材料が多い。(水産加工業)
- ・販売促進イベントに対する消費者の反応が弱い。(パン・菓子製造)
- ・農産物の仕入値が安値で推移するも、売上が伸び悩み、利益に結びつかない。

(食料品製造)

【建設業】 [業況D・I値(前年同期比) 17.4(来期見通し 17.0)]

業況D・I値(前年同期比)の前回の調査(平成24年7月~9月期)時点からの推移では、前回 35.7 今回 17.4と18.3ポイントマイナス幅が縮小した。

来期は 17.0とほぼ横ばいで推移する見通し。

〔主なコメント〕

- ・急激に作業員不足に至っている。本格的に震災復興が始まれば、道内より作業員がさらに流出するのではないか。(建設業)
- ・地元業者による新築工事は減少している。また今後の消費税増での駆け込み需要に期待。

(電気工事)

- ・価格競争の激化による収益は悪化している。業界では企業合併も進んでおり、生き残り策を早急に考えなければならない状況。(建設業)

- ・少子高齢化に加え、今年は雪も多いため、除排雪サービスを希望する世帯が急増している。

(建設業)

【卸売業】 [ 業況D・I値（前年同期比） 20.6（来期見通 26.2） ]

業況D・I値（前年同期比）の前の調査（平成24年7月～9月期）時点からの推移では、前回 31.7 今回 20.6と11.1ポイントマイナス幅が縮小した。  
来期は 26.2とマイナス幅を拡大する見通し。

〔主なコメント〕

- ・小売店の減少と納品価格の乱れなどにより、採算は悪化している。（卸売業）
- ・仕入価格が上昇する一方で需要は少ない。仕事の取り合いで販売価格への転嫁が非常に困難な状況にある。（建築資材卸）
- ・市場が狭まりパイそのものが縮小。競争が激しく利益が減っている。（電気機械器具卸）

【小売業】 [ 業況D・I値（前年同期比） 26.3（来期見通 26.3） ]

業況D・I値（前年同期比）の前の調査（平成24年7月～9月期）時点からの推移では、前回 36.5 今回 26.3と10.2ポイントマイナス幅が縮小した。  
来期は 26.3と横ばいで推移する見通し。

〔主なコメント〕

- ・低燃費車の増加で、販売量の減少が目立つ。仕入れ価格の上昇分が十分に転嫁できない。  
(燃料小売)
- ・薄型テレビの売上が回復せず、低調に推移。（家電）
- ・個人消費の低迷に加え、大型店やコンビニ、ドラッグ店の安売りの影響が大きく、売上は減少している。（スーパー）
- ・コートやブルゾンなどの重衣料、ニットなどの冬物商材の動きが好調であるが、全体的な集客が少なく買い控えが目立つ。（衣料品販売）

【サービス業】 [ 業況D・I値（前年同期比） 15.2（来期見通 20.0） ]

業況D・I値（前年同期比）の前の調査（平成24年7月～9月期）時点からの推移では、前回 22.9 今回 15.2と7.7ポイントマイナス幅が縮小した。  
来期は 20.0とマイナス幅を拡大する見通し。

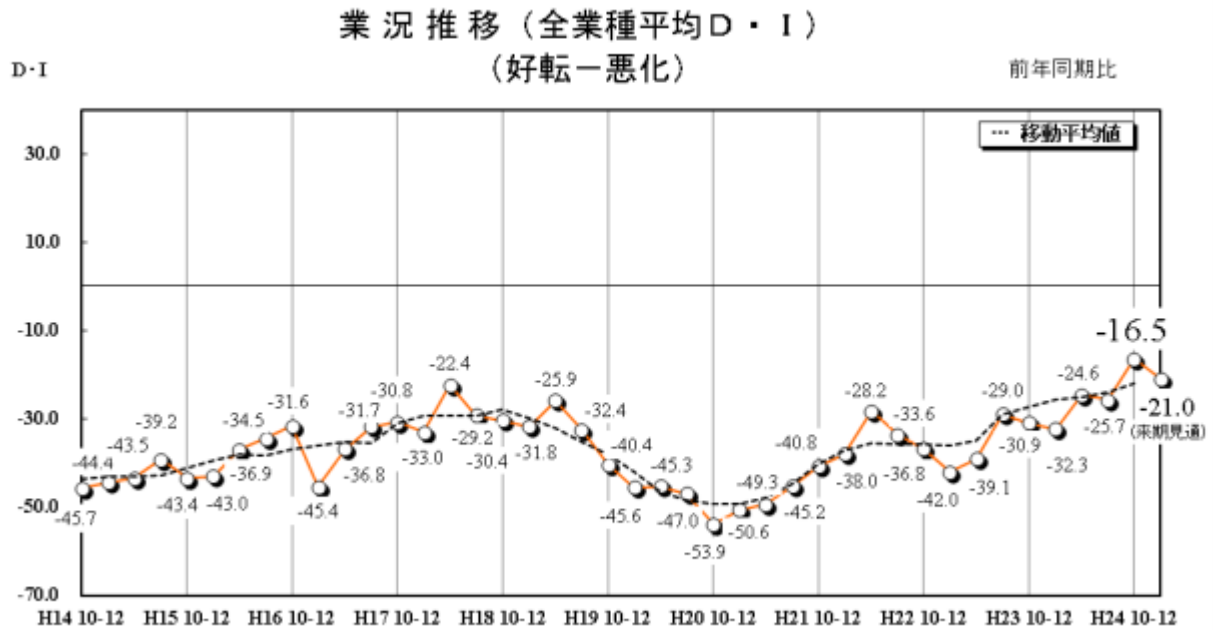
〔主なコメント〕

- ・少子高齢化、人口減少、消費者マインドの冷え込みに加え、同業者との価格競争等により、状況は依然厳しい。（飲食業）
- ・夏物から冬物への衣替えの時期で夏秋物衣類のクリーニング利用客は、前年に比較して落ちている。冬期シーズンを迎え燃料価格の高騰などにより採算性の悪化が懸念される。  
(クリーニング業)
- ・安価な部屋から予約が埋まっていく傾向が以前より強くなっている。（ホテル）

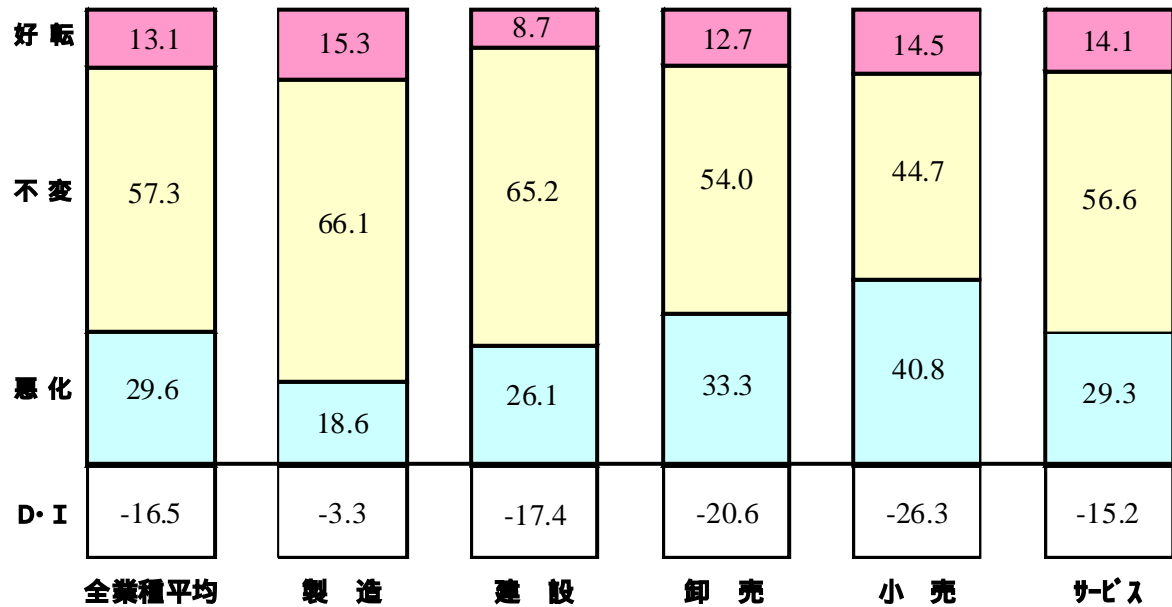
# 1. 今期の業況

## (1) 今期の業況

【前年同期比】（平成23年 10～12月期の水準と比較した今期の業況）



今期の業況（前年同期比）

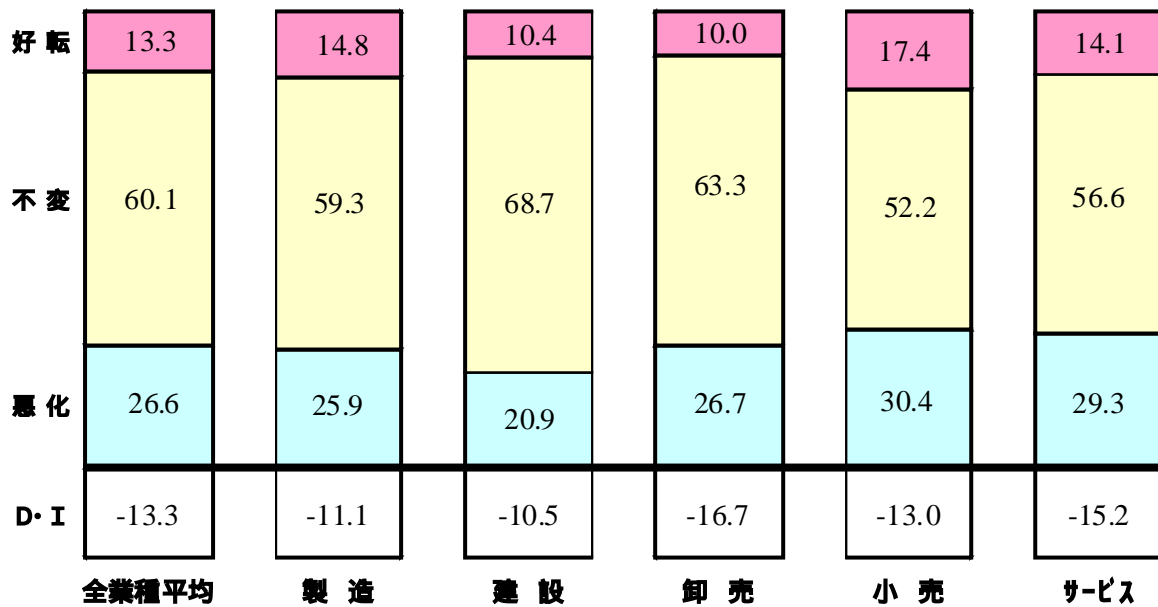


全業種平均でD・I値 **16.5**〔前回調査時（平成24年7～9月期 25.7）より9.2ポイントマイナス幅が縮小〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 1.7 3.3〕、建設〔前回 35.7 17.4〕  
卸売〔前回 31.7 20.6〕、小売〔前回 36.5 26.3〕  
サービス〔前回 22.9 15.2〕

【前期比】（平成24年 7～ 9 月期の水準と比較した今期の業況）

今期の業況(前期比)

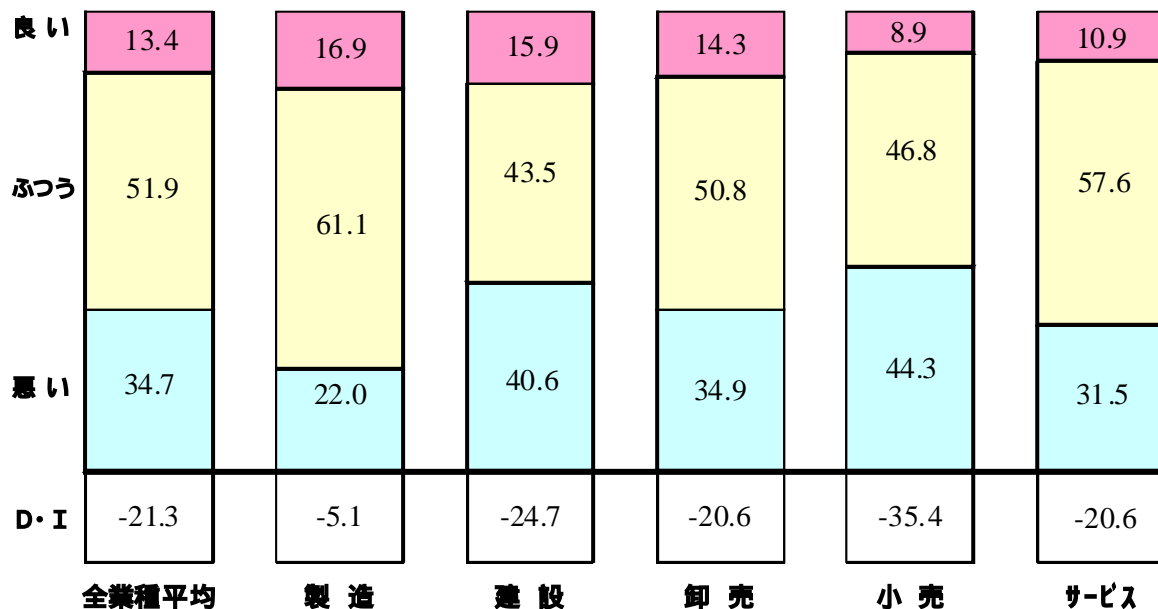


全業種平均でD・I値 **13.3**〔前回調査時（平成24年7～9月期 22.4）より9.1ポイントマイナス幅が縮小〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 14.0 11.1〕、建設〔前回 34.8 10.5〕  
 卸売〔前回 22.6 16.7〕、小売〔前回 31.3 13.0〕  
 サービス〔前回 9.5 15.2〕

【今期の水準】

今期の業況(今期の水準)



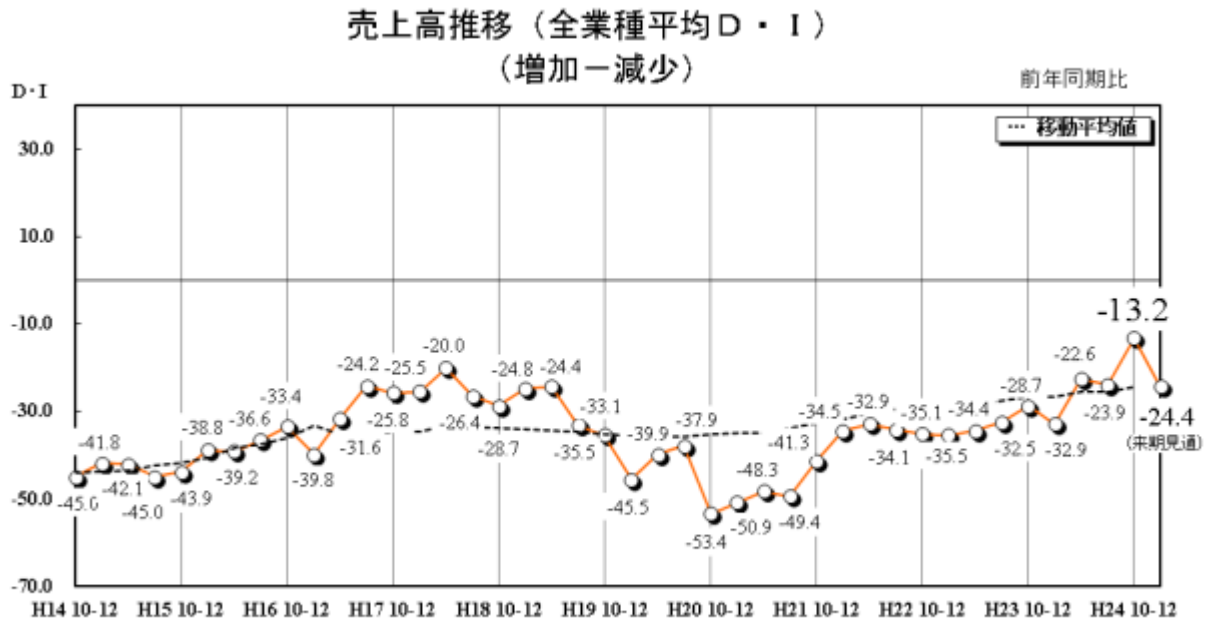
全業種平均でD・I値 **21.3**〔前回調査時（平成24年7～9月期 36.4）より15.1ポイントマイナス幅が縮小〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 15.2 5.1〕、建設〔前回 34.2 24.7〕  
 卸売〔前回 47.5 20.6〕、小売〔前回 59.9 35.4〕  
 サービス〔前回 25.2 20.6〕

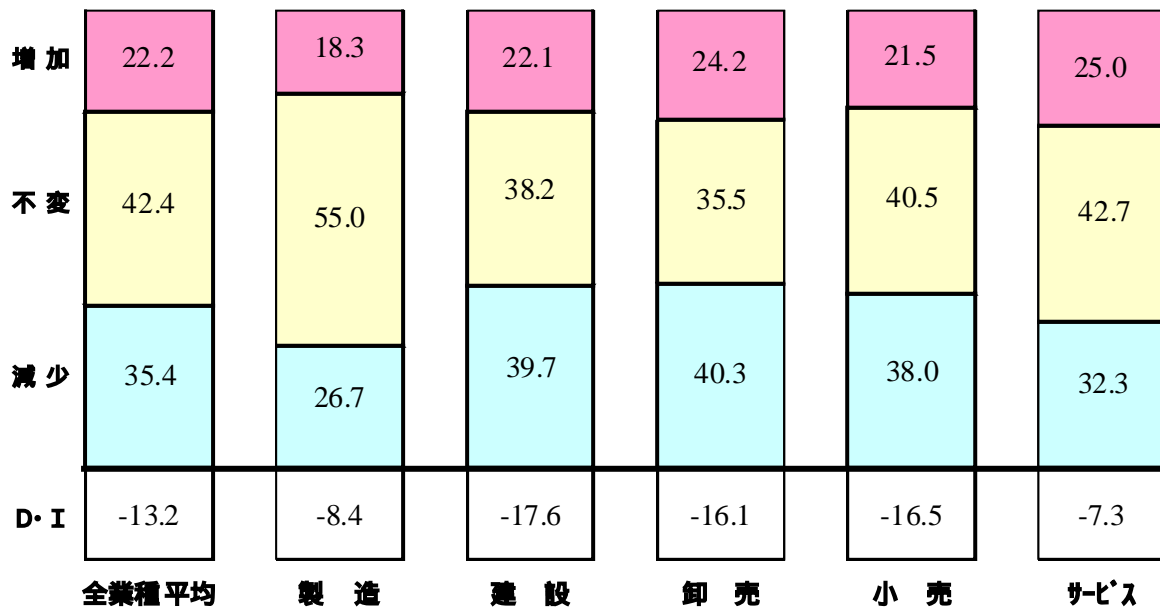


(2) 今期の売上高

【前年同期比】（平成23年 10～12月期の水準と比較した今期の売上高）



今期の売上高（前年同期比）

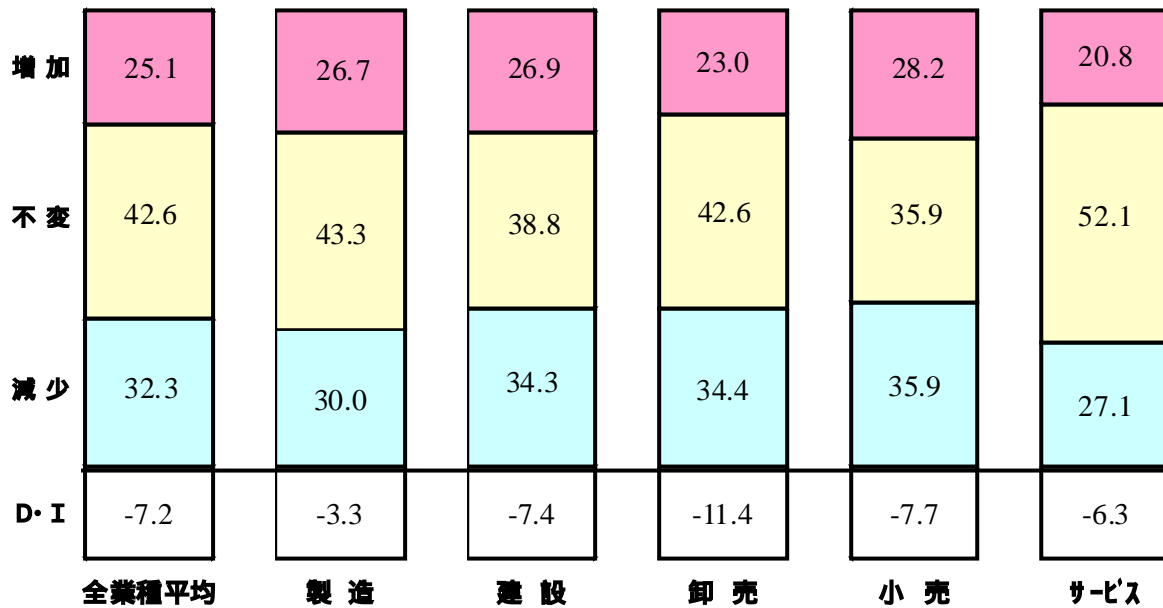


全業種平均でD・I値 **13.2**〔前回調査時（平成24年7～9月期 23.9）より10.7ポイントマイナス幅が縮小〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 3.4 8.4〕、建設〔前回 28.6 17.6〕  
卸売〔前回 38.0 16.1〕、小売〔前回 32.9 16.5〕  
サービス〔前回 16.8 7.3〕

【前期比】（平成24年 7～9月期の水準と比較した今期の売上高）

今期の売上高(前期比)



全業種平均でD・I値 7.2〔前回調査時（平成24年7～9月期 12.2）より5.0ポイントマイナス幅が縮小〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 5.2 3.3〕、建設〔前回 19.0 7.4〕  
卸売〔前回 9.5 11.4〕、小売〔前回 19.9 7.7〕  
サービス〔前回 7.5 6.3〕

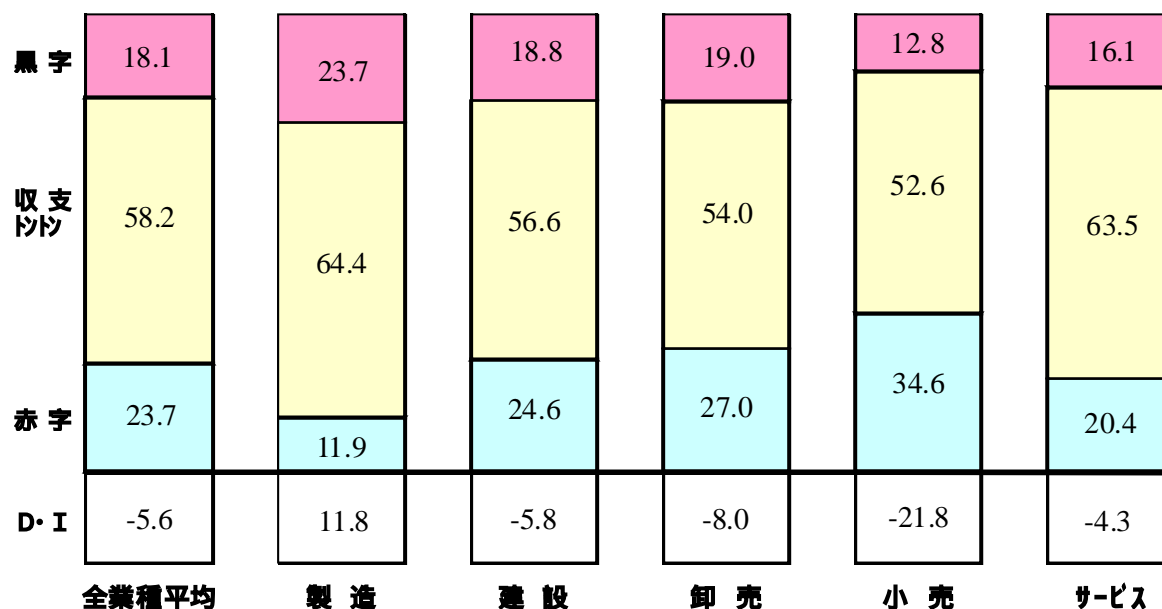
(3) 今期の採算（経常利益）

【今期の水準】

採算推移（全業種平均D・I）  
（黒字－赤字）



今期の採算(今期の水準)

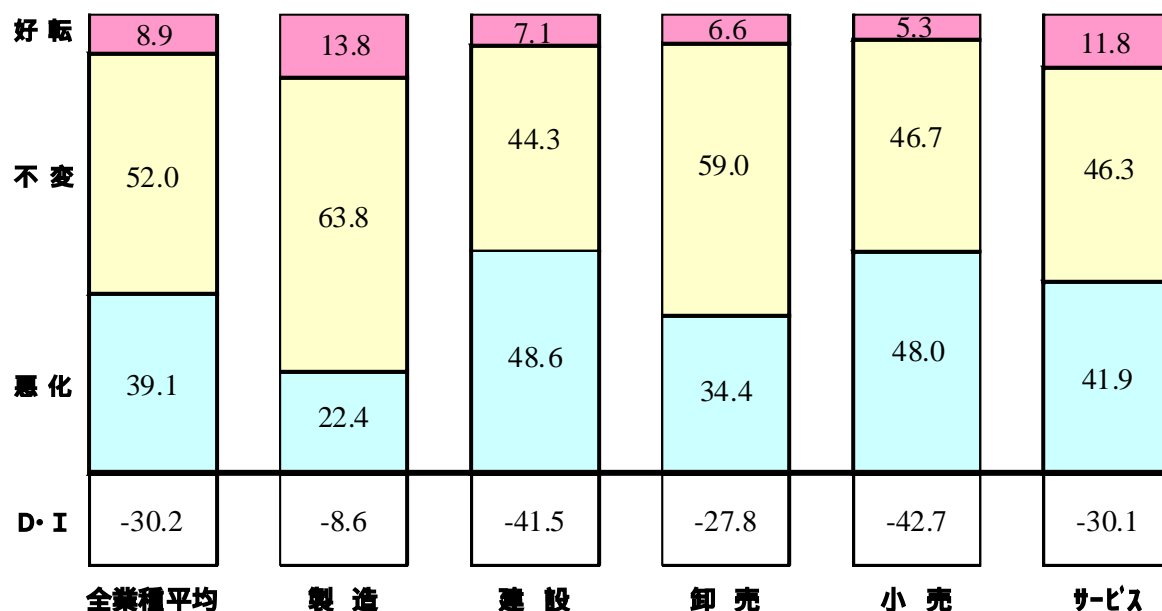


全業種平均でD・I値 **5.6**〔前回調査時(平成24年7~9月期 16.4)より10.8ポイントマイナス幅が縮小〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 1.6 11.8〕、建設〔前回 17.2 5.8〕  
卸売〔前回 24.2 8.0〕、小売〔前回 27.0 21.8〕  
サービス〔前回 26.3 4.3〕

【前年同期比】(平成23年10~12月期の水準と比較した今期の採算)

今期の採算(前年同期比)



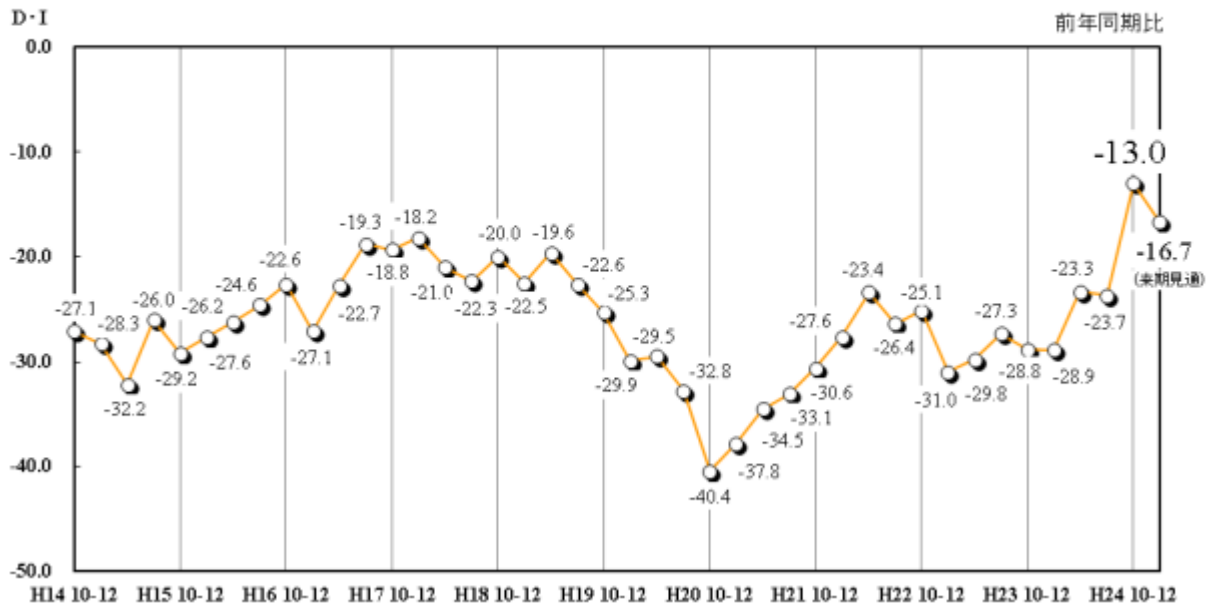
全業種平均でD・I値 **30.2**〔前回調査時(平成24年4~6月期 28.7)より1.5ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 18.6 8.6〕、建設〔前回 36.7 41.5〕  
卸売〔前回 25.4 27.8〕、小売〔前回 31.6 42.7〕  
サービス〔前回 30.9 30.1〕

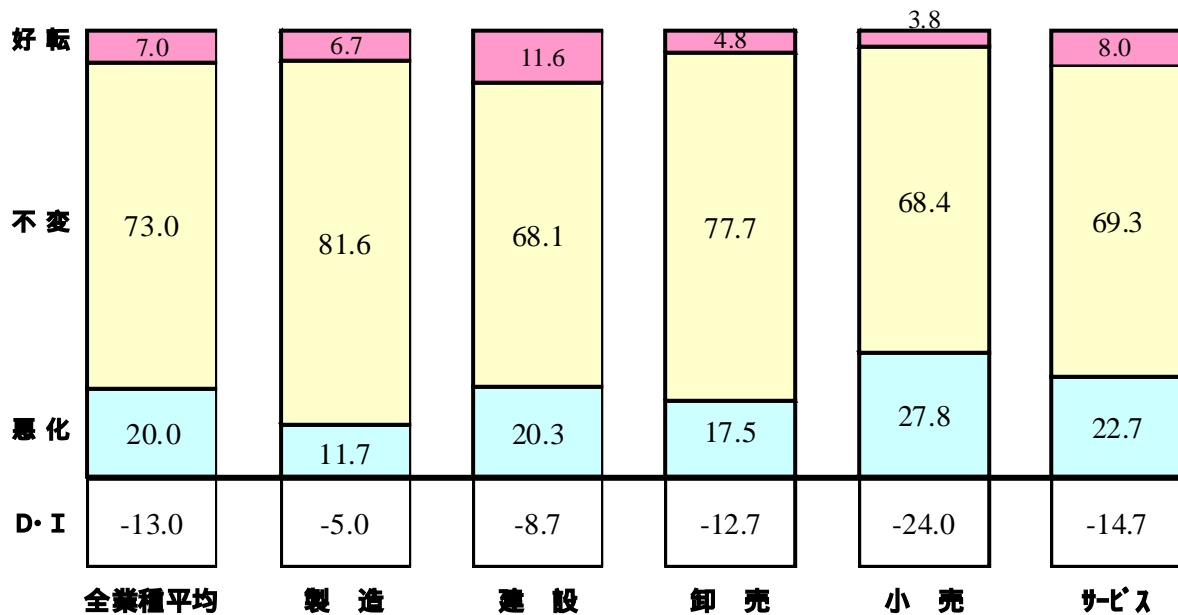
(4) 今期の資金繰り

【前年同期比】（平成23年 7～9月期の水準と比較した今期の資金繰り）

資金繰り推移(全業種平均D・I)  
(好転－悪化)



今期の資金繰り(前年同期比)



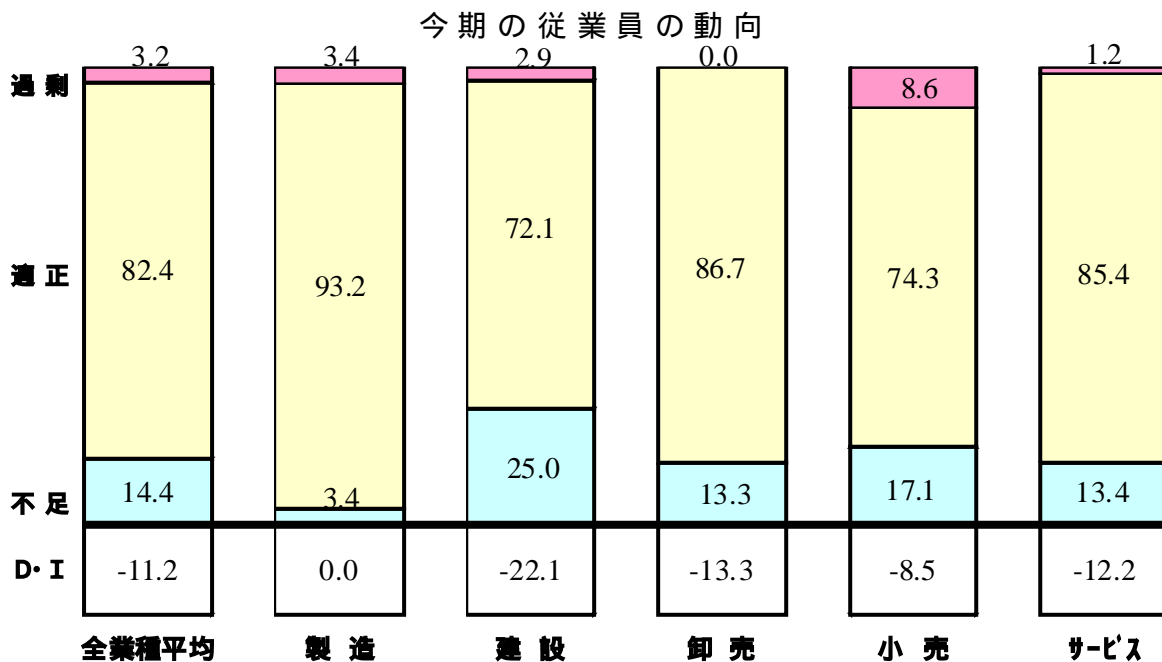
全業種平均でD・I値 **13.0**〔前回調査時(平成24年7～9月期 23.7)より10.7ポイントマイナス幅が縮小〕。D・I値は全業種でマイナス幅が縮小しており、好転したと回答する企業が増えている。

[業種別D・I値] 製造〔前回 10.4 5.0〕、建設〔前回 24.3 8.7〕  
卸売〔前回 25.4 12.7〕、小売〔前回 35.6 24.0〕  
サービス〔前回 22.9 14.7〕

(5) 今期の経営上の問題点（1位に挙げられた項目）

製造業	「需要の停滞」	(27.0%)	[前回 29.4%]
	「製品ニーズの変化への対応」	(17.4%)	[前回 13.7%]
	「製品(加工)単価の低下・上昇難」	(11.6%)	[前回 13.7%]
	「原材料価格の上昇」	(11.6%)	[前回 5.9%]
建設業	「請負単価の低下・上昇難」	(22.2%)	[前回 17.2%]
	「官公需要の停滞」	(19.0%)	[前回 32.8%]
	「民間需要の停滞」	(19.0%)	[前回 23.4%]
卸売業	「需要の停滞」	(48.2%)	[前回 50.7%]
	「販売単価の低下・上昇難」	(17.4%)	[前回 12.3%]
	「仕入単価の上昇」	(9.6%)	[前回 5.3%]
小売業	「需要の停滞」	(23.3%)	[前回 31.0%]
	「販売単価の低下・上昇難」	(20.4%)	[前回 8.8%]
	「消費者ニーズの変化への対応」	(13.0%)	[前回 5.9%]
サービス業	「需要の停滞」	(21.1%)	[前回 21.4%]
	「利用者ニーズの変化への対応」	(19.7%)	[前回 15.0%]
	「人件費の増加」	(11.8%)	[前回 7.5%]

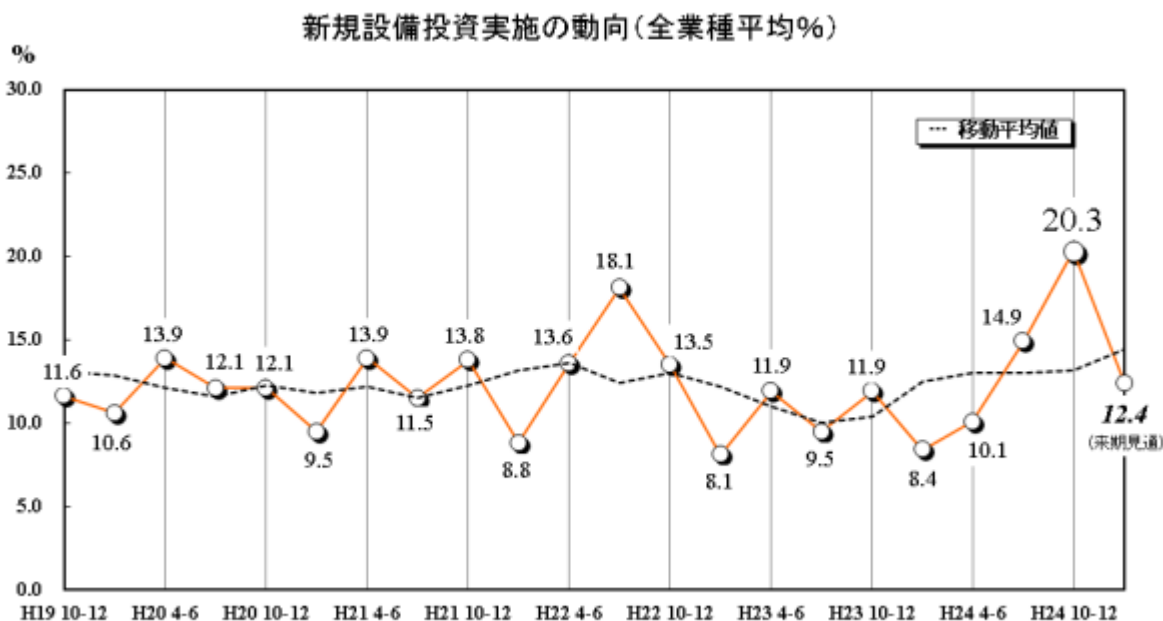
(6) 今期の従業員の動向



全業種平均でD・I値では 11.2〔前回調査時（平成24年7～9月期 7.0）〕と、前回調査時に比べ、不足と回答する企業が増えている。

[業種別D・I値] 製造〔前回 0.0 0.0〕（適正93.2%）  
 建設〔前回 14.3 22.1〕（適正72.1%）  
 卸売〔前回 3.3 13.3〕（適正86.7%）  
 小売〔前回 7.9 8.5〕（適正74.3%）  
 サービス〔前回 9.3 12.2〕（適正85.4%）

(7) 今期の新規設備投資



(単位%)

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	全業種平均
実施した	29.3	21.7	16.4	19.2	14.7	20.3
土地	5.9	20.0	0.0	0.0	0.0	5.2
工場建物、建物、店舗	17.6	13.3	20.0	13.3	7.1	14.3
生産・販売・サービス設備、建設機械	47.1	6.7	20.0	13.3	14.3	20.3
車両運搬具	23.5	60.0	20.0	46.7	50.0	40.0
倉庫・駐車場等の付帯施設	11.8	0.0	20.0	6.7	21.4	12.0
OA機器	17.6	33.3	20.0	13.3	42.9	25.4
厚生施設	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	6.7	20.0	13.3	14.3	10.9
実施していない	70.7	78.3	83.6	80.8	85.3	79.7

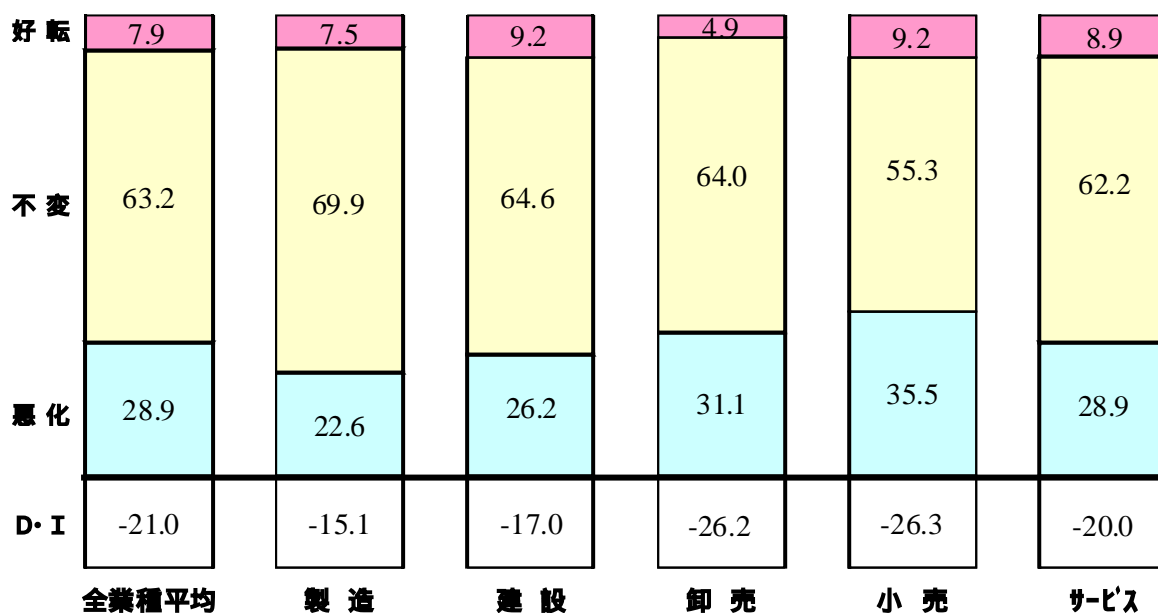
新たに設備投資を実施した企業は平均で**20.3%**〔前回調査時(平成24年7~9月期14.9%)〕、業種別では製造〔前回17.2% 29.3%〕、建設〔前回17.6% 21.7%〕、卸売〔前回8.1% 16.4%〕、小売〔前回14.9% 19.2%〕、サービス〔前回16.8% 14.7%〕と、前回調査に比べ設備投資を実施した企業は増加した。

## 2. 来期の見通し

### (1) 来期の業況

【前年同期比】（平成24年1～3月期の水準と比較した来期の見通し）

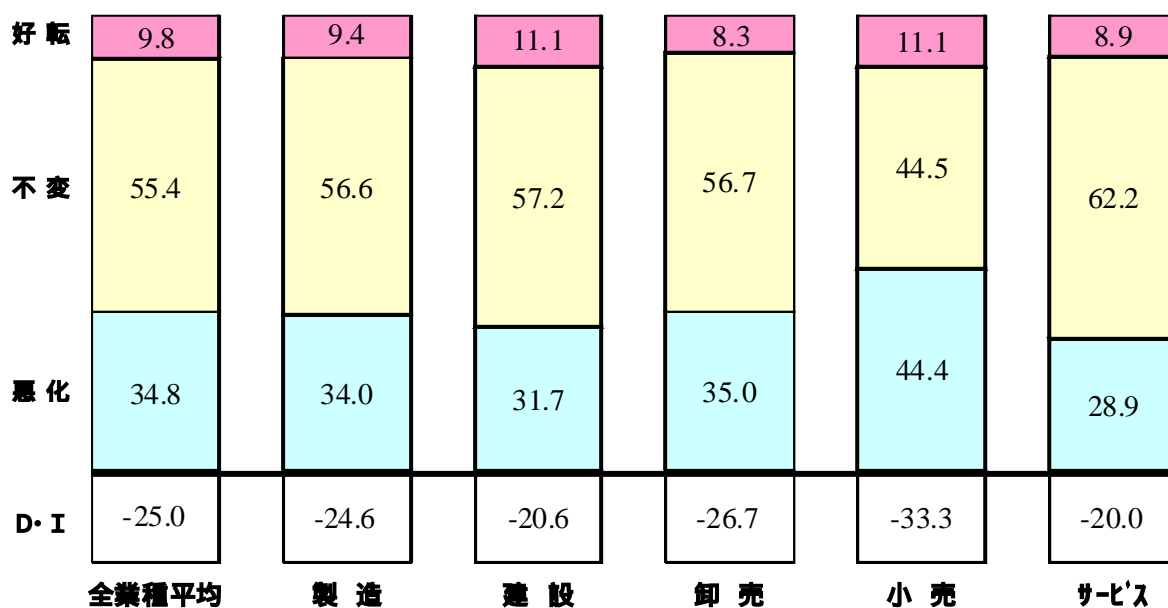
来期の業況見通し(前年同期比)



全業種平均でD・I値 **21.0**〔今期の業況（前年同期比 16.5）より4.5ポイントマイナス幅が拡大〕と、悪化の動きが見られる。

【今期比】（平成24年10～12月期の水準と比較した来期の見通し）

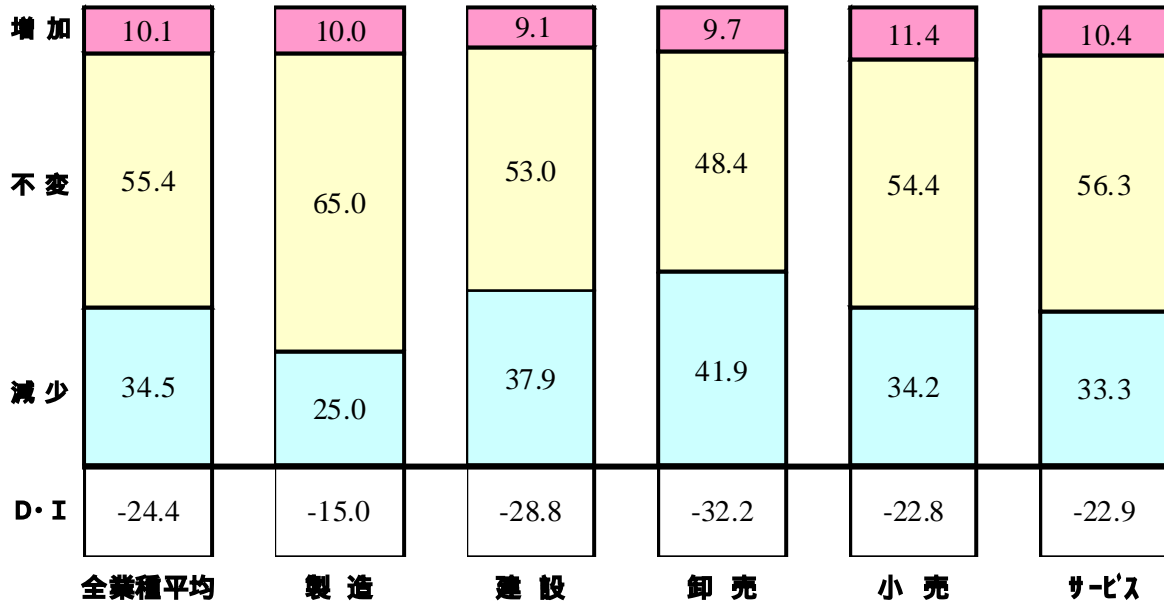
来期の業況見通し(今期比)



(2) 来期の売上高

【前年同期比】（平成24年1～3月期の水準と比較した来期の見通し）

来期の売上高見通し(前年同期比)

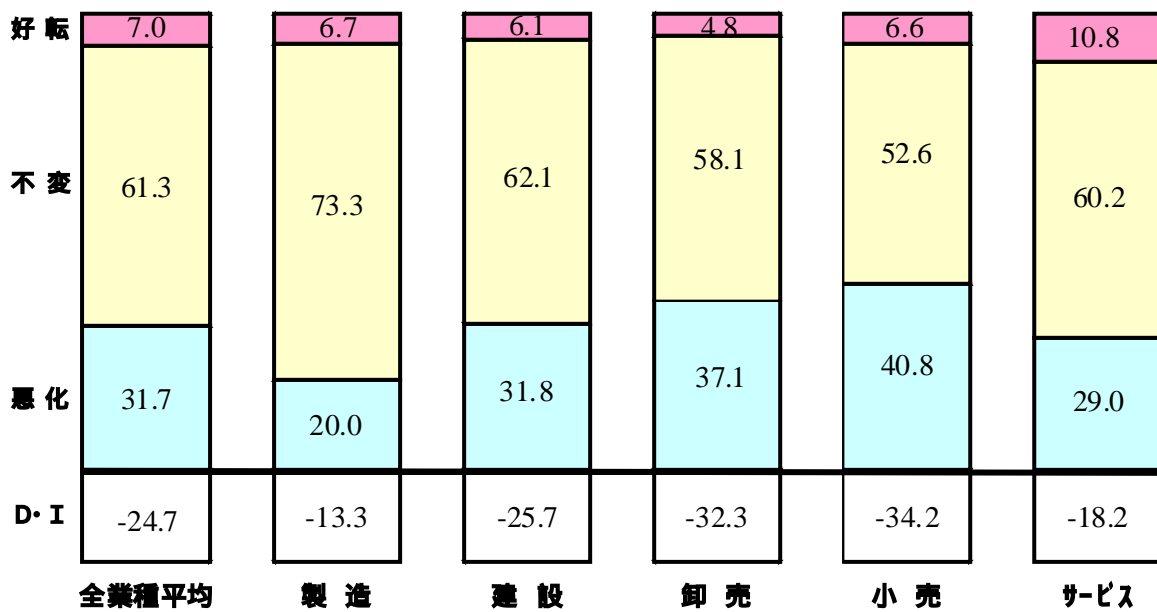


全業種平均でD・I値 **24.4**〔今期の売上高（前年同期比 13.2）より11.2ポイントマイナス幅が拡大する見通し〕。

(3) 来期の採算（経常利益）

【来期】

来期の採算見通し(前年同期比)



全業種平均でD・I値 **24.7**〔今期の採算（今期の水準 5.6）より19.1ポイントマイナス幅が拡大する見通し〕。



#### (4) 来期の新規設備投資

(単位%)

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	全業種平均
実施する	14.5	13.6	10.0	13.2	10.6	12.4
土地	12.5	11.1	0.0	0.0	0.0	4.7
工場建物、建物、店舗	12.5	0.0	0.0	30.0	10.0	10.5
生産・販売・サービス設備、建設機械	62.5	44.4	33.3	30.0	20.0	38.0
車両運搬具	25.0	22.2	50.0	10.0	30.0	27.4
倉庫・駐車場等の付帯施設	25.0	11.1	0.0	10.0	20.0	13.2
O A 機器	12.5	22.2	16.7	30.0	40.0	24.3
厚生施設	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	2.2
その他	0.0	22.2	0.0	10.0	10.0	8.4
実施しない	85.5	86.4	90.0	86.8	89.4	87.6

来期、新たに設備投資を予定している企業は全業種平均で**12.4%**となっており、今期(20.3%)に比べ、全業種で設備投資は控える動きとなっている。

業種別では、製造〔今期29.3% 14.5%〕、建設〔今期21.7% 13.6%〕、卸売〔今期16.4% 10.0%〕、小売〔今期19.2% 13.2%〕、サービス〔今期14.7% 10.6%〕となっている。